

探訪 新ライフスタイル

2005年2月、長野市にて世界各国から知的発達障がいのあるアスリート約2700人が参加した「スペシャル・オリンピックス冬季世界大会」が開かれた。収容人数2万人の会場内には数えることができるぐらい少ない観客だったが、勝者だけでなく、最後のゴールまであきらめないアスリ

スタバ、社会とつながる店舗



パートナーが手話で注文を確認する（スター バックスnonowa国立店）

2005年2月、長野市にて世界各国から知的発達障がいのあるアスリート約2700人が参加した「スペシャル・オリンピックス冬季世界大会」が開かれた。収容人数2万人の会場内には数えることができるぐらい少ない観客だったが、勝者だけでなく、最後のゴールまであきらめないアスリ

トバックスジャパンは東京・銀座の1号店開業から25年が過ぎ、今では全国1600店舗、パートナー（従業員）4万人、1週間に500万人が来店する業界トップ企業に成長した。様々な立地業態での展開が強みだが、20年6月に東京・国立駅高架下施設に開業した「スターバックスnonowa国立店」は、「障がいの有無や年齢にかかわらず、自分らしくいろいろなことができる」と6人の聴覚障がい者と6人の聴者で運営している。

現在は22人の聴覚障がい者と6人の聴者で運営し、東京・国立駅高架下施設に開業した「スターバックスnonowa国立店」は、「障がいの有無や年齢にかかわらず、自分らしくいろいろなことができる」と6人の聴覚障がい者と6人の聴者で運営している。

現在は22人の聴覚障がい者と6人の聴者で運営し、東京・国立駅高架下施設に開業した「スターバックスnonowa国立店」は、「障がいの有無や年齢にかかわらず、自分らしくいろいろなことができる」と6人の聴覚障がい者と6人の聴者で運営している。

多様な人材活用、求心力に

ート達への惜しみない大きな拍手が送られた。一日中会場内のリンクに販売ブースでは温かいコーヒー達への惜しみない大きな拍手が送られた。

が、スターバックスの臨時活動に対し大きな共感力を抱いた。

いると思から身体が冷えたヒーを提供してくれた。これが働き、お客様に手話や筆談、ヒーと笑顔での社会貢献指差しメニューで応対する

ライフスタイル

1 Impactチームの的メッセージに注目する時

代には、真摯に社会と向き

う学校の生徒達が、先輩の合つ倫理観が重要だ。また、

人生生きと働く姿をみて、人に對して寛容な心やさし

夢や未来を描ける場所になりつつある。視覚障がい者

や車椅子の方など様々な個

性の人が来店し、手話を習

ながる。人間にとって最も大切なのは何かが問われ

ているようだ。

「誰もが精神的・身体的・多様なつながりで社会を

変えるには、地域、会社、行政、学校などで多様な人

を巻き込む仕組みづくりが必要だ。社会と個人、店と顧

客をパートナーと考えれ

ば送り手は受け手であり、受け手は送り手でもある相

互関係性の新たなつながり

のソーシャルなライフスタイルが見えてこよう。

昨日は環境や社会に貢献する商品・サービスに共感

し、購入する応援消費が目

の高い創造研究所代表